



# インゲン栽培講習会

2020.2.25  
雪印種苗株式会社

## インゲン栽培ポイント

雪印種苗株式会社

圃場作り	圃場選定 ; 水はけ・日当たりの良い圃場が向く 肥培管理 ; (基肥) N : P : K = 10 : 15 : 10 kg / 10a »pHは6.0前後が理想 品種選定 ; 作型・出荷形態を考慮し品種を選ぶ
播種	発芽適温 ; 20-25℃ »低温時は被覆資材(マルチ・不織布等)を利用し地温向上を図る 栽植密度 ; 条間 45cm × 株間 24-35cm »栽培条件・作型によって調節
管理	生育適温 ; 20-25℃前後が理想 »開花期の低温・高温・乾燥で着莢不良の原因になる 栽培管理 ; 倒伏対策として支柱等に対応 適宜、追肥や摘葉を実施し樹勢維持に努める 害虫対策(薬剤防除)の徹底が大切
収穫	収穫 ; 適期収穫を心掛ける »収穫遅れは、品質低下やその後の生育に影響を与える 調整 ; 収穫後は品温を上げないよう心掛ける

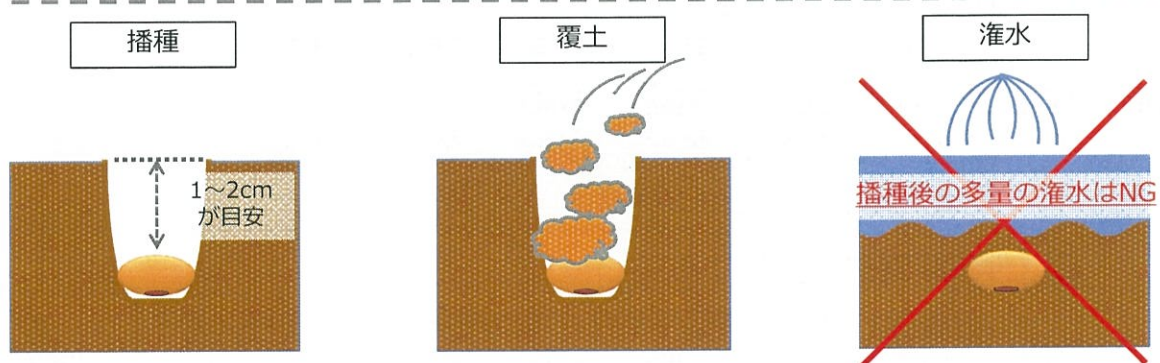


- 過湿には弱い作物のため、  
水はけのよい土壌を好む
- 連作には弱いので、  
毎年圃場を変えることが望ましい
- 施肥量目安
  - N : P : K = 10 : 15 : 10 kg/10a
  - pHは6.0前後が理想



# 2. 播種時の注意

- 発芽の適温は20～25℃
- 土が水分を含んだ状態で播種
- 播種後の多量の灌水を抑える
- 覆土は1～2cmが理想



### 3. 播種のポイント

- 欠株が出ないように 2～3粒播種
  - 発芽後に間引きの実施
- 密植栽培は避ける
  - 着莢不良・曲り莢・病気蔓延の原因に

#### <栽植密度>

条間45cm × 株間24～35cm

### 4. 温度管理

- 生育適温は**20～25℃**
  - 大豆（エダマメ）：25～30℃
  - エンドウマメ：15～20℃
- 夜温は15℃以下にならないように
- 高温・低温は着莢不良・奇形莢・曲り莢の原因に。開花期以降の温度には特に注意！

- ・ 倒伏しないように早めに行う



倒伏は収量低下・品質劣化の原因となります  
支柱等を活用し倒伏対策しましょう

## 6. 灌水

- ・ 灌水は少量多回数が原則
- ・ 乾燥は減収、品質低下の原因
  - 曲がり莢・奇形莢の増加
- ・ 過湿は根腐れを引き起こす原因
  
- ・ 開花期前までは水分控えめにし、根張りを良好にする
- ・ 開花期以降は水分要求量多くなる

## 7. 草勢の維持管理

- 追肥は草勢を観察しながら行う  
(N : 2kg/回、開花始め頃～)
- 摘葉 (老化した葉の除去) が重要



草勢維持には、  
古い葉の除去が重要！  
取りすぎには注意

## 8. 収穫

- **収穫遅れに注意**
  - 2番花以降の花芽分化が遅れる
  - 莢の劣化、秀品率低下の原因
- **収穫はなるべく涼しい時間帯に**
  - 収穫後の品温を上げないよう注意



取り遅れに注意！！  
品質に直結する原因に

### ・ハウス開放部から侵入する

- 防虫ネット（1mm目程度）の利用
- ハウス内部、周辺の除草徹底
- 収穫残渣はハウス外へ持出す
- 紫外線カットビニールの利用



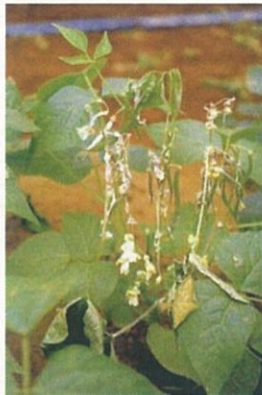
### ・風による飛散などで移動

- ハウス内部、周辺の除草徹底
- 収穫残渣はハウス外へ持出す
- 早期発見、早期防除



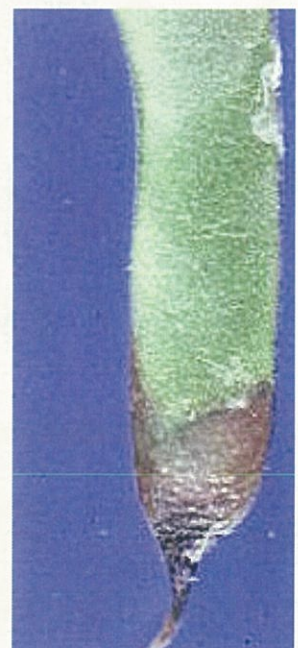
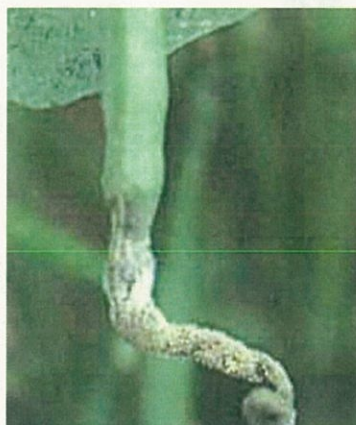
• 開花期以降に被害拡大

- 前作の残渣はハウス外へ持出す
- 窒素肥料の多用を避ける
- 発生圃場での連作を避ける
- ハウスの換気を十分に行う



• 多湿条件で被害拡大

- ハウス換気を十分に行う
- 茎葉への灌水を避ける
- 摘葉をこまめに行う





## 高品質で収量性に優れる つるなし丸莢インゲン

- 播種後62日程度で収穫できる中生種
- 草丈は60cm前後
- 莢の長さは15cm程度
- 小葉で分枝数、花数が多く長期収穫に向く
- 莢の太りが遅く、多少の遅れでも品質の低下が少ない

### <注意点>

収穫の切れ目が短いため、一斉収穫向けには「ピテナ」をお勧めいたします

栽培作型		1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月																					
地域	作型	●: 播種期    ■: 収穫期																					
北海道 東北 高冷地	ハウス																						
	露地																						
一般地	ハウス																						
	露地																						
暖地	ハウス																						
	トンネル 露地																						



## 耐倒伏性に優れ、一斉収穫に向く 濃緑系つるなし丸莢インゲン

- 播種後65日程度で収穫できる中生種
- 耐暑性が強く、高温化の栽培でも曲がり莢の発生少なく、秀品率の割合高い
- 濃緑色の莢で長さ14cm程度
- 莢の肥大が遅いため一斉収穫でも莢の形状が揃う
- 耐倒伏性に優れる

### <注意点>

一斉収穫向け品種のため、収穫に追われなような作付けを計画ください

栽培作型		1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月																					
地域	作型	●: 播種期    ■: 収穫期																					
北海道 東北 高冷地	ハウス																						
	露地																						
一般地	ハウス																						
	露地																						
暖地	ハウス																						
	トンネル 露地																						





## 長期収穫可能な つる性・丸莢インゲン

- 莢の凸凹が目立たない丸莢
- 莢色濃く品質良好
- 曲がり莢の発生少なく秀品率が高い
- やや旺盛な草姿で開花・収穫始めが早い
- 長期収穫に適する

### <栽培のポイント>

◇草勢不良や**莢の取り遅れ**が品質低下、特に莢表面に水泡の斑点症状(生理障害)の原因になるため、肥料切れや過乾燥に注意し、草勢維持、**適期収穫**に努める

◇分枝はやや少ないので、50~100cmくらいで**1~2回**摘心することで分枝の発生を促し摘葉をおこないながら、樹を整理し樹勢を保つことがポイント

